

哲学歴史学科 世界史コース

『新バシレイオス伝』に見る死後世界譚の創作・編集・受容
—東方正教世界の物語と政治文化—

。

文学部 2024 年度

A21LA084

どい ひでき
土居 英樹

目次

はじめに	1
第1章 東方正教世界の文学と終末論	5
第1節 聖者文学と黙示文学	5
第2節 トウルロ教会会議に見る終末論	10
第3節 「トポス」化する黙示文学の主題：問題の所在	13
第2章 「生けるテキスト」としての『新バシレイオス伝』	19
第1節 物語内容	19
第2節 写本系統	21
第3節 研究史：問題の所在と「テキスト生態学」	24
第3章 『新バシレイオス伝』成立と宮廷文化	31
第1節 「成立期の」ギリシア語写本の検討	31
第2節 新しいバシレイオス1世伝としての特徴	34
第3節 物語集成としての特徴	48
第4章 編集されていく『新バシレイオス伝』	54
第1節 後世のギリシア語写本に見る翻案	54
第2節 後世のギリシア語写本に見る短縮・省略	58
第3節 歴史的背景から見る翻案・短縮・省略と受容環境	61
結論	68
おわりに	70
注	73
参考資料（表1・表2・表3）	89
参考文献一覧	93